

西中 夢 Library

図書便り 7月号
発行 海田西中学校
司書 笠原 真弓

羽生結弦選手 国民栄誉賞受賞！

フィギュアスケート男子五輪で冬季五輪2連覇を成し遂げた羽生結弦選手

7月2日、国民栄誉賞が贈られました。個人では最年少の受賞で、フィギュア選手では初めてです。

羽生選手は出身地の仙台市で東日本大震災に遭い、平昌大会前に右足首に大きなけがをする中、五輪フィギュア男子で66年ぶりの連覇を果たしました。首相は「大変な困難を乗り越え、(連覇を)達成されたことは国民に感動と勇気、社会に明るい夢と希望を与え、震災復興への力強いメッセージになった」と讃えました。

羽生選手は「自分だけで取れるものではない、(歴史)を切り開いてくださった方々がいて、代表として頂いた。これからも国民栄誉賞の名に恥じないスケートをしていくことが大事」と喜びを語っています。【中国新聞 平成30年7月3日の記事より引用】

図書館には、これまでの羽生選手の葛藤、挑戦、成長を描いた

「羽生結弦王者のメゾット / 野口美恵著」があるのでぜひ手にとってみてください。

◎夏休み中の貸し出しについて◎

一人三冊まで貸出できます。

返却期間は『8/29～9/7』の一週間です。

AKB(あなたが決めるBOOK)総選挙 ~経過報告~

リクエスト本の掲示(図書館への渡り廊下)

リクエスト本への投票(SHRで実施)

9月に行います。詳細は新学期に入ってから連絡します。



読書

http://book.asahi.com/
Twitter @asahi_book

有名人が離婚を発表する時、その理由として「価値観の違い」を挙げることもある。その度に、価値観なんて違うだろう、と思うのだが、人と人とのつながりを表す指標として、価値観の一致が信頼されているようなのだ。友人関係でも同様。人は、相手が自分のことをどう

で理解してくれているか、一致しているのかを確かめ続ける。著者は言う。「百パーセント自分を受け入れてくれる誰かがいるはず」という考え方は幻想にすぎない。過度に期待し、裏切られ、傷つく。そんな連鎖を断ち切り、「人はどんなに親しくなっても他者なんだ」ということを意識した上での「信頼感」を作っていくべきだ、と訴える。「二年生になったら友だち百人できるかな」という歌がある。私は小学一年生になってから三〇年近く経つが、友だちは百人もいない。欲しいとも思わない。まさしくこうだった歌が

象徴するように、学校という場が投げかける「みんな仲良く」というメッセージが、人は誰とでも仲良くなるもの、と幻想を生み出す。その幻想に準じた学校運営は、はみ出ずを生む。その誰かに向かって、はみ出さないで、と繰り返し強ければ、生命の安全すら危うくなる。著者は、みんな仲良くという「同質的共同性」ではなく、「並存性」を重視せよという。「親しさか、敵対か」を選ぶのではなく、「態度保留」で構わない。親しさでもなく敵対でもない、私はあなたのことからいらないから距離を保つ、という選

武田 砂鉄

(ライター)

(朝日新聞 平成30年5月19日掲載)

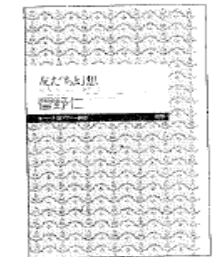
☆新刊より1冊紹介 ともだち幻想人と人との<つながり>を考える / 菅野仁著☆

本書は、社会学者である著者が、学生や若い読み手に向けて、人間関係を築くうえでの考え方の基礎を、社会学の手法をベースにひも解いた本です。タイトルからネガティブな印象を抱くかもしれませんが、そうではなく、現代に生きる私たちが抱える人付き合いの悩みを乗り越えていくためにはこんな考え方もあるのか!と教えてくれる一冊です。

売れてる本

「みんな仲良く」のつづき

友だち幻想 人と人との<つながり>を考える
菅野仁(著)



ちくまプリマー新書・799円
26刷23万6200部
08年刊行、昨年から売り上げが3倍に。メディアで紹介され加速した。

▼週間ベスト10入り▼

